

平成27年岩見沢市議会第4回定例会 一般質問発言通告

1. 太田博之議員(所要時間40分)

- 1 杭工事によるデータ改ざん問題について
 - (1) 公共施設における安全性の確認について
 - (2) 今後の対応について
- 2 岩見沢市における入札等について
 - (1) 入札不調・不落について
 - (2) 発注の経済効果について
 - (3) 今後の改善策について
- 3 2020年東京オリンピック・パラリンピックについて
 - (1) 誘致についての現況について
 - (2) 事前合宿誘致について
 - (3) 今後の対応・方向性について
- 4 競馬場跡地について
 - (1) スタンド解体の方向性について
 - (2) 跡地の利活用について
 - (3) 周辺住民の環境改善について
- 5 地域小規模雪堆積場について
 - (1) 地域における小規模雪堆積場の確保について
 - (2) 雪対策における施策の展開について
- 6 放課後児童クラブについて
 - (1) 放課後児童クラブの現状について
 - (2) 今後の児童クラブのあり方について

2. 古石英仁議員(所要時間30分)

- 1 平成28年度予算編成に向けた考え方について
 - (1) 財政環境が極めて厳しい中であって、どのように取り組んでいくのか
 - (2) あんしん住まいづくり助成事業やプレミアム建設券の発行に伴う経済効果を踏まえ、新年度においてはどのような展開を考えているのか

3. 花田茂巳議員(所要時間40分)

1 地方創生における人口ビジョン及び総合戦略について

(1) 市長の「地方創生」にかける決意について

- ① 本市の人口素案では、合計特殊出生率等、大きな目標を掲げており、それを具現化する総合戦略素案では、少子化対策関連の諸施策が大きいうたわれている。しかし、この出生率の目標を実現することを念頭に置くのであれば、他都市に比しても抜きんてた措置が必要であり、財政的な問題があるとすれば、施策の工夫によりこれを克服するべきである。いずれにしても目標達成には、何より市長がやりきるといふ強い思いが必要である。まずは施策実現に向けての覚悟を問う

(2) 戦略素案で策定された施策の選択と集中・予算の重点化について

- ① 今回の総合戦略素案で策定された施策は、どれも重要なものではあるが、多方面にわたるため、結果として一つ一つの施策にかけられる財源や資源が小規模とならざるを得ない。そこで、施策の選択と集中、予算の重点化などにより、施策にメリハリと特徴を出すことも必要なのではないか。

また、その結果として、より市民に未来の岩見沢の方向性を示せるのではないか

(3) 総合戦略と雪氷冷熱を利用した地方創生への提案

- ① 総合戦略素案では、本市の自然条件的な特性については触れていないが、本市の降雪量の多さは大きな特徴である。かつても本市で実証事業等が行われたと聞いているが、その事業等が現在どのようなになっているのか伺う
- ② また、雪の利活用の研究等も進んできていると思うが、本市の大きな資源でもある雪を利用した「まちづくり」の提案ができないか伺う

(4) 子育てに関する諸施設の一部無償化の検討について

- ① 女性と子育てに日本で一番快適なまちづくりを標榜する本市として、岩見沢市の子育て環境をさらに向上させるため、遊びやスポーツ、芸術や文化などの子どもたちにかかわる施設利用料の無償化を検討してはいかがか。特に「であえーる」等の中心市街地における子育て関連施設の無償化については、市民へのアピールとして、先行的な取り組みとしてお願いしたい

2 子どもの貧困対策について

(1) 本市における貧困の実態把握

- ① 我が国全体として貧困が問題となっている。特にひとり親家庭での相対的貧困率は、過半数を占め大きな問題となっている。まずは岩見沢市における貧困家庭の実態。特にお子さんのいる貧困家庭の実態について伺う

(2) 本市の貧困家庭への相談・支援のあり方

- ① 貧困問題の解決には、様々な施策が必要であるが、多くの施策にまたがるため、相談の際に、各課を渡り歩き、毎回自己の貧困状況を説明させることなどないよう窓口のワンストップ化は必須である。本市の相談体制、窓口はどうなっているのか伺う

(3) 奨学金について

- ① 貧困から脱する最も良い処方箋は教育である。そのため「奨学金」は大変重要である。しかし、今日の労働環境・社会状況から、一種の借金である貸与型の奨学金は、就学を希望する学生・生徒に有効に機能していない。このため、本当に必要なのは「給付型奨学金」である。本市でもこれらの子どもたちの将来のために、市独自の給付型の奨学金の充実ができないか伺う

3 教育大綱と教育施策について

(1) 教育大綱に見る教員の資質向上について

- ① 本市の教育大綱を見ると様々な施策が記載されているが、その中、「教職員の資質向上」という言葉があるが、この意図するところは何か伺う

(2) 教育大綱の計画年度と施策目標の達成について

- ① 本市の教育大綱の計画年度を見ると、今年度からの3年間となっているが、教育は人間を育てるというその特性上、急にかじをきった場合の弊害も多く、改革による政策効果の発現にもいささか時間がかかり、長期的な視点で評価せざるを得ない部分も多い。今回の大綱に見る政策目標をわずか3カ年間で全うできるとは到底思えない中で、この大綱をどう捉え、また政策目的をどう達成させるのか市長の考えと決意を問う

(3) 現在の中学校選択制と小中一貫校について

- ① 先日の政務調査で広島県呉市の小中一貫教育についての資料を入手したが、昨年、国会においても小中一貫校に関する法律の改正があったと聞いている。そこで本市においても小中一貫教育を取り入れることを検討すべきと考えるが、その前段として本市の中学校の状況、特に中学校の学校選択制の評価について伺いたい

(4) 緑陵高校と中高一貫校の可能性に見る本市への導入について

- ① より良い学校や教育は、人を呼ぶ力があると思う。本市においても先進的な教育の取り組みとして「小中一貫校」、「中高一貫校」の実施を考えるべきだと思うが、市長の考えはいかがか

(5) 教育大綱と全道大会出場に対する支援について

- ① 先般の一般質問の際にも提起したが、本市の教育大綱においても豊かな心と健やかな体を育む芸術・文化・スポーツのまちづくりが標榜されており、であればこそ「全道大会」に出場する児童・生徒に対する支援を行うべきであると思う。改めて支援を要望し、市の考え方を問う

4. 平野義文議員(所要時間40分)

1 安定した雇用や活躍する場をふやすための取り組みについて

(1) 地元商工業振興について

- ① 関係省庁との連携や窓口の一元化等について
- ② 市として取り組むべき地元企業支援について
- ③ 地元における農商工連携について

(2) 起業(スタートアップ)支援について

- ① どのような支援展開を考えているか

(3) 企業誘致について

- ① 地方活力向上地域特定業務施設整備促進プロジェクト等の活用について
- ② 企業誘致や本社機能一部移転等の現状と見込みについて

2 市民活動の機運向上に向けた取り組みについて

(1) 活動支援体制の整備について

- ① 短期的、中長期的な取り組みとして、どのようなことを考えているか

(2) 市民意識向上に向けた仕組みづくりについて

- ① 市民活動団体等への支援方法について
- ② 市民参加意識を高めるための取り組みについて

5. 伊澤幸信議員(所要時間30分)

1 まちなか居住について

(1) 中心市街地活性化とまちなか居住について

- ① 中心市街地活性化には、まちなか居住は不可欠と考えますが

2 雪の利活用について

(1) 除排雪と雪の利活用について

- ① 除排雪の充実強化による市民を巻き込んだ雪の利活用を

6. 峯泰教議員(所要時間35分)

1 岩見沢市人口ビジョンについて

(1) 岩見沢市における企業動態に対する現状分析について

- ① 岩見沢市人口ビジョン策定に際して企業動態についてはどのように考えているかを問うものです

(2) 国や道の出先機関及び民間事業所の規模縮小について

- ① 人口減少社会において国や道の出先機関、民間事業所の撤退・縮小などで人口減が予想されるが、現状認識と今後の予測と取り組みについて問うものです

(3) 目指すべき将来の方向性についての考え方について

- ① 「雇用」「移住・定住」「出産・子育て」「くらし」の四つの観点からの目指すべき将来の方向性とは、具体的に「どのようなまち」であるかを問うものです

2 岩見沢市の教育について

(1) 小中学校の適正配置について

- ① 小中学校の適正配置についての考え方、今後の方向性について問うものです

(2) 教育支援センターの現状について

- ① 教育支援センターの相談件数、相談内容等、支援による成果及び問題点について問うものです

(3) 教育支援センターの方向性について

- ① 教育支援センターの次年度以降の方向性についての考え方を問うものです

(4) 学校と塾の連携について

- ① 光陵中学校 土曜学習会「Sスタディ」の取り組みと参加人数、成果、問題点について問うものです

(5) 次年度以降の塾との連携について

- ① 次年度以降の塾との連携「Sスタディ」の継続や拡充に対する教育委員会の見解を問うものです

7. 山田靖廣議員(所要時間25分)

1 幌向歩道橋へのエレベータ設置について

(1) 幌向歩道橋へのエレベータ設置について

- ① 設置へのお考えをお聞かせください
- ② 歩道橋の利用、通行人数の把握について
- ③ 地域や幌向地区協からの要望について

2 ごみ処理行政と改善について

(1) 燃やせるごみの現状について

- ① 燃やせるごみの排出量及び内容について
- ② 燃やせるごみ削減の市民訴えについて

(2) ごみ分別への市民への周知について

- ① 転入者への具体的対応について
- ② 町内会未加入者などへの対応について

(3) 危険物の扱いについて

- ① カセットコンロの収集実態について
- ② パッカー車での火災事故などについて
- ③ 国の示す対応との違いについて

- 3 国の地方創生交付金の活用の現状と改善について
 - (1) プレミアム商品券の活用及び登録状況について
 - ① 最終的な発行枚数、金額などについて
 - ② 利用実績での大型店と個人商店などの把握について
 - ③ 登録状況で683店の業種別などについて
 - (2) 今後の改善について
 - ① 大型店と個人商店などの専用券の発行についての検討
- 4 非婚ひとり親家庭の寡婦控除の現状と適用の拡大について
 - (1) 実績について
 - ① 産前産後ヘルパー及び保育料への実績について
 - (2) 今後の対象の拡大について
 - ① 市営住宅への拡大の経緯について
 - ② 新たな項目への拡大について
- 5 性同一性障がい者への対応について
 - (1) 性同一性障がい者への認識について
 - ① 市長の認識について
 - (2) 証明書などの改善について
 - ① 性別の記載事項について
 - (3) 児童生徒の性同一性障がいへの対応について
 - ① 過去の相談などについて
 - ② 文部科学省の通知の具体的対応について

8. 榎 館 竜 哉 議員 (所要時間20分)

- 1 岩見沢市の観光産業について
 - (1) 現在の観光産業の施策について
 - ① どういった施策が必要であるのか
 - (2) 周辺自治体との連携・協同について
 - ① 今後も含め、方針策定・施策実行についてどう行っていくのか
- 2 いわみざわ公園について
 - (1) いわみざわ公園内ローズパークの整備について
 - ① 現在の整備の進捗状況について
 - ② 今後の整備計画についてどのように行っていくのか
 - (2) いわみざわ公園の今後の展望について
 - ① いわみざわ公園でのさらなる観光推進施策について

9. 酒井和子議員(所要時間25分)

1 高齢者政策の課題について

- (1) 「生活保護基準相当で暮らす高齢者及びその恐れがある高齢者」について
- (2) 「介護失業者」の声なき声をどうくみ取るか

2 地域で取り組む「引きこもり」の社会復帰支援について

- (1) 当市の現状をどう把握されているのか
- (2) 打開のため、できることをどうお考えか

3 子どもの貧困について

- (1) 昨年、第3定で取り上げてから、状況はどう変わり、どのように対処しておられるのか

10. 大和勝議員(所要時間30分)

1 東部丘陵地域の振興について

(1) 東部丘陵地域の振興について

- ① 東部丘陵地域の総合的な振興について
- ② 地域住民のモチベーションを保つための働きかけについて

(2) 地域おこし推進員について

- ① これまでの活動について
- ② 今後の方向性について
- ③ 他の自治体の地域おこし推進員との連携について

2 地域包括支援センターの今後の動向について

- (1) 地域包括支援センターの役割について
- (2) 各居宅介護支援事業所との連携について

3 手話と手話に関する条例について

- (1) 手話と手話に関する条例への考え方について

4 広報媒体の利活用の向上について

- (1) 情報発信の戦略について
- (2) 岩見沢市役所ホームページについて
 - ① ホームページの更新経過について
 - ② 現在のホームページに対する評価について
 - ③ 今後の活用・改善について

5 市民満足度の向上のための人材育成について

- (1) 市民満足度の向上のための職員研修について

11. 齊 須 正 友 議 員 (所要時間25分)

1 高齢化社会に対応したまちづくり

(1) 公共施設のトイレの洋式化について

① 和式から洋式トイレへの移行はどの程度進めていますか

(2) 公共施設及び公園のトイレ整備について

① トイレの新設及び使用時間の拡充と老朽化したトイレの更新を望みますが、市長の見解をお伺いいたします

2 主権者教育について

(1) 主権者教育の認識とこれまでの取り組みについて

① 主権者教育をどのように認識し、今までどのように取り組んでこられましたか

② 文部科学省の通知を受けて今後の取り組みの方向性についてお伺いいたします

(2) 主権者教育の深化について

① 主権者教育を今後深化していく中で情報源の確認が重要と考えますが、見解をお伺いいたします

12. 上 田 久 司 議 員 (所要時間25分)

1 T P P大筋合意の影響と今後の取り組みについて

(1) 大筋合意の内容・影響を市長はどう受けとめているか

(2) 今後に向けての取り組みについて

2 介護保険制度について

(1) 要支援者へのサービス確保について

① 新総合事業でのサービス確保について

② ボランティア支援の役割・位置づけ等について

③ チェックリスト等について

(2) 介護労働者の処遇改善について

3 保育料の軽減について

(1) 年少控除廃止に伴う「みなし控除」の適用について

4 就学援助の改善について

(1) 生徒会費・P T A会費・クラブ活動費の支給について

5 美流渡小中学校の統廃合について

(1) 住民との話し合い等について

(2) 児童・生徒や地域の影響について

(3) 校舎改修等が一方で行われてきたが、整合性は

6 学童保育の充実について

(1) 高学年の受け入れについて

(2) 障がい児の受け入れについて